スーパーグローバル大学創成支援事業 令和6年度事後評価結果表

大学名	東京科学大学（旧：東京医科歯科大学）
整理番号	A05
構想名	TMDU型グローバルヘルス推進人材育成構想：地球規模での健康レベル向上への挑戦

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価（公表用）

（総括評価） A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
（コメント） <p>事業期間全体において、保健医療分野において世界規模での健康レベル向上にむけて、グローバルヘルス推進人材を育成するために、「ガバナンス体制強化/教学マネジメント改革」の基、「教育改革」及び「海外拠点を活用した積極的な教育研究展開」が推進されており、国立大学で唯一の医療系総合大学として、他の医療系大学のモデルとなるべきものとなっている。その展開に当たっても、段階に応じて必要な取組みが各種行われたことで、医療系大学ならではの制約がある中で着実に成果を上げてきたことは評価に値する。</p> <p>上記の取組みの成果として、本事業の定量的な成果指標のほぼすべての項目において、事業最終年度の目標値を実績でクリアしているだけでなく、大学独自の設定した目標に対しても、達成率は優れたものとなっている。</p> <p>一方で、世界大学ランキングにおいては総合大学が有利であることは理解しているものの、貴学が重要視した分野別ランキングに関しても、当初目標にあげてきた水準に到達できず、対策が検討中であるといった課題が残されている。また、比較的小規模大学としてはユニークな取組みを多く進められてきた一方で、本事業で成果のあったグッド・プラクティスの横展開については、タイプAであることも鑑み十分には提示できていないと考えられる。今後も、他大学のモデルとなるような取組みの継続と可能な限りの成果公表を進めていただくことを期待したい。</p> <p>最後に、スーパーグローバル大学創成支援事業による補助期間は終了したが、令和6年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合して、東京科学大学が誕生し、新体制になっていることにより、両大学のこれまでの伝統と先進性を生かしながら、新しい大学の在り方を創出し、引き続き徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行い、我が国社会の国際化の牽引に寄与されることに期待する。</p>	